

2012年11月27日(火)

18:00 ~ 20:30 / Workshop

日仏会館 601号室



描かれた 酒と米

フランス国立図書館蔵『酒飯論絵巻』をめぐって

© フランス国立図書館 BnF

フランス国立図書館が所蔵する『酒飯論絵巻』は、酒または飯の利を説く、17または18世紀頃の模本とされる絵巻である。この絵巻には四段に渡って、宴会や調理などの風景が描かれ、食やお茶と飲酒の論争を記している。2009年からパリにおいて、美術史、文学、儀礼史、食文化史、日本中世史など領域を超えた研究者の共同研究の対象となり、今回、研究成果の報告会が開催されることとなった。

【司会】 クリストフ・マルケ (日仏会館フランス事務所所長)

- フランス国立図書館蔵『酒飯論絵巻』の共同研究プロジェクト
—— 紹介、総括と見直し
ヴェロニック・ベランジェ (フランス国立図書館)
クレール=碧子・ブリッセ (パリ・ディドロ大学)
- 『酒飯論絵巻』を読む —— イメージとテキストのはざま
小峯和明 (立教大学)
- 描かれる食の風景 —— イメージとその現実
伊藤信博 (名古屋大学)
- 京都の酒から下り酒まで
—— 室町時代から江戸時代における日本酒生産地域の移動
ニコラ・ボームール (名古屋大学)

【主催】 日仏会館フランス事務所、名古屋大学大学院国際言語文化研究科

【後援】 フランス国立図書館、日仏図書館情報学会

【参加申し込み】

日仏会館フランス事務所：contact@mfj.gr.jp

SAKÉ et RIZ en représentation

*Autour du Rouleau illustré
sur les mérites comparés
du saké et du riz
de la Bibliothèque nationale
de France*

Modérateur : Christophe MARQUET
(Bureau français de la MFJ)

Intervenants :

Véronique BÉRANGER (BnF)
Claire-Akiko BRISSET (univ. Paris-Diderot)
KOMINE Kazuaki (univ. Rikkyô)
ITÔ Nobuhiro (univ. de Nagoya)
Nicolas BAUMERT (univ. de Nagoya)

Organisateurs : Bureau français de la MFJ,
université de Nagoya The Graduate School
of Languages and Cultures.

Soutien : Bibliothèque nationale de
France, Société franco-japonaise des
bibliothécaires et des documentalistes.

日仏会館

MAISON FRANCO-JAPONAISE

日仏会館フランス事務所・フランス国立日本研究センター 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 (最寄り駅 JR・東京メトロ恵比寿)

Bureau français Institut français de recherche sur le Japon 3-9-25, Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-0013 (station Ebisu)

【TEL】 03-5421-7641 【FAX】 03-5421-7641 【WEB】 www.mfj.gr.jp 【ACCESS】 http://www.mfj.gr.jp/acces/index_ja.php

日仏会館